

## PRESS RELEASE



2025年11月14日

各 位

株式会社ビューティカダンホールディングス  
(コード番号：3041 東証スタンダード)

### 菊花茎由来セルロース試料が完成

ー 京都大学による受託研究で廃棄花材の再資源化が実証段階へ ー

#### 《概要》

株式会社ビューティカダンホールディングス（本社：熊本県熊本市、代表取締役社長：舩田正一 以下、「当社」という）が国立大学法人京都大学（京都府京都市左京区 学長 湊長博 以下、「京都大学」という）に委託して実施している「菊花茎のセルロース抽出に関する研究」において、京都大学 生存圏研究所にて菊の花茎から抽出したセルロース試料の生成に成功いたしました。

本研究は、当社グループの事業活動で発生する菊類の花茎など廃棄花材を、循環型資源として再活用することを目的としており、今回の成果は「花材を資源へと転換する」取り組みの第一段階となります。

#### 《試料の概要》

- ・ 名称：菊由来セルロース新素材
- ・ 形状：白色粉末状（ガラス容器入り、写真は約 30g）
- ・ 提供元：京都大学 生存圏研究所（研究担当：西村特定准教授）



#### 《研究成果のポイント》

京都大学における本研究では、以下の成果が報告されています。

- ・ 京都大学において、菊花茎からの高純度セルロース抽出プロセスを確立
- ・ 1 kg バッチ規模での抽出実証に成功し、量産化に向けた技術的見通しを得た
- ・ 抽出セルロースを用いた「和紙調シート」および「形状保持セルロース」など2種類の試作品を製作

なお、本成果は京都大学における独自技術を活用した基礎研究の成果であり、具体的な製法・条件等の知見は京都大学に帰属します。

これらにより、廃棄花材の再資源化を可能にする技術的基盤が構築され、化粧品、包装材、繊維、装飾素材など多分野での応用が期待されています。

#### 《今後の展望》

完成した試料をもとに、今後は異業種連携による実証・試作フェーズに移行する予定です。繊維・化粧品・包装資材などの分野で、大学と企業が協力しながら試作品開発や用途検討を進める計画が進められています。

また、地域金融機関や産学官ネットワークを通じて、地域資源の循環と新素材創出を両立する広域的な連携モデルの構築も検討されています。

当社は引き続き、廃棄花材の有効活用を通じて環境負荷低減と地域経済の活性化に取り組み、“花の循環”を軸とした持続可能なフラワービジネスの実現を目指してまいります。

#### 《会社概要》

会 社 名：株式会社ビューティカダンホールディングス

所 在 地：熊本県熊本市南区流通団地 1-46

代 表 者：代表取締役社長 舛田正一

事業内容：生花祭壇事業、生花卸売事業、ブライダル装花事業

#### 《お問い合わせ先》

株式会社ビューティカダンホールディングス 広報担当

TEL：096-370-0004

Email：ir-info@beauty-kadan.co.jp

Web サイト：<https://www.beauty-kadan.co.jp>